

15:21 それから、イエスはそこを去って、ツロとシドンの地方に立ちのかれた。

15:22 すると、その地方のカナン人の女が出て来て、叫び声をあげて言った。「主よ。ダビデの子よ。私をあわれんでください。娘が、ひどく悪霊に取りつかれているのです。」

15:23 しかし、イエスは彼女に一言もお答えにならなかった。そこで、弟子たちはみもとに来て、「あの女を帰してやってください。叫びながらあとについて来るのです。」と言ってイエスに願った。

15:24 しかし、イエスは答えて、「わたしは、イスラエルの家の滅びた羊以外のところには遣わされていません。」と言われた。

15:25 しかし、その女は来て、イエスの前にひれ伏して、「主よ。私をお助けください。」と言った。

15:26 すると、イエスは答えて、「子どもたちのパンを取り上げて、小犬に投げてやるのはよくないことです。」と言われた。

15:27 しかし、女は言った。「主よ。そのとおりです。ただ、小犬でも主人の食卓から落ちるパンくずはいただきます。」

15:28 そのとき、イエスは彼女に答えて言われた。「ああ、あなたの信仰はりっぱです。その願いどおりになるように。」すると、彼女の娘はその時から直った。

イエス様はまず、ユダヤ人に伝道しました。ユダヤ信仰の正典である旧約聖書に約束された救い主であることを示すためです。またユダヤ人は自分たち以外の民族のことを、すなわち異邦人のことを、まことの神を知らないという理由で忌み嫌っていました。

このカナン人の女も異邦人でしたから、まだイエ

ス様の伝道対象ではなく、また忌み嫌われていた存在でした。しかしそうであっても霊的には、すばらしい信仰の持ち主だったのです。

主イエスの力を信じて疑わない強い信仰、断られてもさらに求める積極的な信仰と信頼、そして「小犬でも」という謙遜な信仰です。

私たちもそのような信仰で、主に求め続けましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあつて何を実践しますか？

